第12課　聖霊の働き

【暗唱聖句】

「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように」ローマ15:13

神様はわたしたちの希望の源です。この希望は信仰により、聖霊の力によって与えられます。

【今週のテーマ】

今週は聖霊の罪と義と裁きについて世の誤りを明らかにする働きについて学びます。

【日曜日　罪を明らかにする】

「その方（聖霊）が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする」ヨハネ16：8

ここに聖霊の重要な働きについて書かれてあります。それは三つの世の誤りを明らかにすることです。三つの世の誤りとは、罪について、義について、そして裁きについての誤りです。まず罪についての誤りを見てみましょう。

「罪についてとは、彼らがわたしを信じないこと」ヨハネ16：9

ユダヤ人たちはモーセの律法を表面的に犯すことが罪だと考えていました。しかし、イエス様は「わたしを信じないことが罪」であり、それを聖霊が指摘するであろうと言われました。聖霊はイエス様が父なる神様から罪人を贖うために遣わされた救い主であることを悟らせてくださいます。そして、その救い主なるイエス様を信じないということこそ罪なのだと悟らせてくださいます。わたしたちがイエス様を信じなければ、救い主から離れてしまうことを意味しています。イエス様から離れては人は何一つすることができず、そのような主から離れてしまう状態にあることを罪と言うのです。

また、罪は聖霊が明らかにするものですが、しかしわたしたちは何と人の罪を指摘することが多いことでしょう。

「だから、すべて人を裁く者よ、弁解の余地はない。あなたは、他人を裁きながら、実は自分自身を罪に定めている。あなたも人を裁いて同じことをしているからです」ローマ2：1

「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。」マタイ7：3

聖書はわたしたちが人の罪を指摘してはならないと教えています。それは私たちではなく聖霊の働きだからです。ただ個々の罪を断罪することが聖霊の目的ではなく、イエス様から離れてしまっている状態にあることに気づかせ、もう一度主に立ち返るようにと聖霊は導かれるのです。

【月曜日　義の必要性】

聖霊は義についても世の誤りを明らかにします。罪についてよくわからなければ、結果的に義についてもよくわかりません。だから、聖霊はこの両方を明らかにされるのです。

「義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなること」ヨハネ16：10

救われた喜びや確信が乏しいクリスチャンがいます。自分は罪深く、聖書の義の標準に達していないことで自分を責めてしまいます。しかし、聖霊が真にその人のうちに働くとき、その人が必要としている本当の義とは何かを悟らせてくださいます。

「義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなること」（ヨハネ16：10）とは、イエス様が十字架で贖いの死を遂げられた後、復活し、父のもとに帰ることで神の義を完成されたことを表しています。すなわち、義とはイエス様が与えて下さるものだと言うことです。だから、イエス様はわたしたちに対して自分自身の義を求めるのではなく、「まず神の国と神の義を求めなさい」と言われたのです。

しかし、まじめなクリスチャンほど自分の義、すなわち律法を守ることで正しいものにならなければならないと考えてしまいがちです。これが義についての誤りということです。もちろん、律法は大切なものであり、律法を正しく守ることができるようにと祈り求めるものではありますが、それでもなお天国に入るための義は、神様からいただかなければ自分たちでは達しえないのです。イザヤ書には「わたしたちは皆、汚れた者となり、正しい業もすべて汚れた着物のようになった。」（イザヤ64：5）と、自力による正しいと思える行為さえ、汚れた着物のようだと書かれてある通りです。

しかし、そのような私たちがイエス様の十字架の意味を真に悟ったとき、驚くべき真実を知るのです。それは十字架の愛によって、父なる神様とすでに和解しているということです。そして、それゆえに救われているということです。

「敵であったときでさえ、御子の死によって神と和解させていただいたのであれば、和解させていただいた今は、御子の命によって救われるのはなおさらです」ローマ5：10

イエス様の私たちに対する愛を信じ切れず、その結果イエス様から離れてしまうことが罪だとするならば、義は逆にイエス様の愛を信じ、イエス様と一つとなることによって与えられるものだということがわかります。この真実を悟ったとき、パウロのようにわたしたちも次のように叫ぶのです。

「生きているのはもはやわたしたちではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身をささげられた神の子に対する信仰によるものです」ガラテヤ2：20

【火曜日　裁きについて誤りを明らかにする】

聖霊は、罪と義についての誤りを明らかにした後、最後に裁きについての誤りを明らかにすると書かれています。

「また、裁きについてとは、この世の支配者が断罪されることである」ヨハネ16：11

この裁きについてとは誰の裁きについて言っているのでしょうか。これは罪人に対する来たるべき裁きのことではなく、この世の支配者であるサタンに対する裁きのことを言っています。真理の大敵であるサタンは、イエス様が十字架で死なれたとき裁かれたのです。十字架は人類の罪の赦しと同時に、その罪を来たらせたサタンの裁きが確定した瞬間でもあったのです。

「今こそ、この世が裁かれる時。今、この世の支配者が追放される」ヨハネ12：31

サタンはいま、天より与えられている時間を生きているに過ぎません。ただ、この残りの時間をサタンは吠え炊ける獅子のように暴れまくり、一人でも多くの人間を道連れにしようとしています。だから、わたしたちは油断してはならないのです。

「身を慎んで目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、だれかを食い尽くそうと探し回っています。信仰にしっかり踏みとどまって、悪魔に抵抗しなさい。あなたがたと信仰を同じくする兄弟たちも、この世で同じ苦しみに遭っているのです。それはあなたがたも知っているとおりです」第一ペテロ5：8，9

もし、わたしたちが聖書のみ言葉を拒むなら、サタンと同じようにわたしたちも裁かれることになります。

「わたしを拒み、わたしの言葉を受け入れない者に対しては、裁くものがある。わたしの語った言葉が、終わりの日にその者を裁く」ヨハネ12：48

人間の裁きは、神様の言葉が基準となり、神様の言葉に逆らうとき、その神様の言葉によって裁かれることになります。だから、わたしたちは正しいみ言葉の理解と、そのみ言葉に生きる従順さが求められています。

【水曜日　救いの確証】

「御子と結ばれている人にはこの命があり、神の子と結ばれていない人にはこの命がありません。」第一ヨハネ5：12

御子と結ばれているのか、いないのかが永遠の命に直結していきます。御子とつながっている人には、神の子とする聖霊が与えられています。

「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。この霊こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの霊と一緒になって証ししてくださいます。もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。」ローマ8：15～17

わたしたちが神の子として内側におられる聖霊が、わたしたちが救われていることの保証です。

「わたしたちを、このようになるのにふさわしい者としてくださったのは、神です。神は、その保証として“霊”を与えてくださったのです」第二コリント5：5

「あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。」エペソ1：13，14

イエス様を復活させた同じ力強い力が、いまわたしたちの中で躍動しており、霊的に死んでいた私たちを生かしています。だから、わたしたちは聖霊に従って歩み（ローマ8：4）、霊に属することを考えるのです（ローマ8：5）。

わたしたちの内側に聖霊がおられることをどのようにして知ることができるのかということについては、次のような聖句が与えられています。

「ここであなたがたに言っておきたい。神の霊によって語る人は、だれも「イエスは神から見捨てられよ」とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも「イエスは主である」とは言えないのです」第一コリ12：3

【木曜日　聖霊と希望】

「忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことがありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」ローマ5：4，5

「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように」。ローマ15：13

神様の愛はわたしたちの希望の根拠です。神様から愛されていなければ、わたしたちに希望はありません。神様の愛のゆえにわたしたちは罪を赦されて、永遠の命への希望が生まれるのです。ローマ5：4では、その神様の愛が聖霊によって注がれていると書かれてあります。また同時にローマ15：13には聖霊によって希望が満ち溢れると書かれています。つまり、神の愛による希望は、聖霊を通して与えられるということです。

聖霊が罪、義、裁きについての正しい理解へと導くことは、この希望が与えられることとも関係しています。なぜなら罪と義と裁きの正しい理解とは、神様の愛の理解でもあるからです。だから、希望が生まれるのです。

「雄々しくあれ、心を強くせよ。主を待ち望む人はすべて。」詩篇31：25

神様は誠実で真実な方であるがゆえに、わたしたちの希望はゆるぎません。この神様の誠実で真実な愛はキリストの十字架の中に輝いています。わたしたちの希望は自分自身の中に、あるいは自分が成し遂げた事柄の中にあるのではなく、初めから終わりまでただ十字架によって示された神様の愛の中に見出すことができるのです。